

親子聖書日課

NO.1891 2024.12/22-28

名前

[日]信仰に生きることを恐れると、人の声が気になります。「大変だから無理だ」と、同調者を集め、同盟を結びます。しかし、そこには神が共におられませんから、信仰の勝利はないのです。「万軍の主をのみ、畏れる」確かな生き方をしましょう。

[月]クリスマスによく読まれるキリスト預言です。主は無力な神ではありません。どんなに困難な問題からも、私達を救い出し、永遠の平和を与えて下さいます。「万軍の主の熱意がこれを成し遂げる」のですから、私達は信じて、従うことです。

[火]不正な裁判がまかり通り、弱者が虐げられる社会は、今の日本でも見られます。そんな「災い」が社会全体に及んでいるのは、裁判官だけではなく、私達にも責任があります。世の光・地の塩として、神の義を唱え、神の愛を実践しましょう。

[水]「残りの者だけが帰って来る」とは、今日のキリスト者のことです。沢山の人が主のもとへ招かれますが、少数の人だけが悔い改めて、主に立ち帰るのです。自分がなぜ残されたのか、それは主の救いを、生活と言葉で証しするためです。

[木]キリストこそ「エッセイの根から出た一つの若枝」です。「その日(主の再臨)が来れば」正義が行われ、貧しい者が虐げられず、幼子は命が守られ、平和な国が実現します。「その日」に向かって、主にある平和(十字架の救い)を伝えましょう。

[金]泉から水を汲むためには、桶が必要です。この桶こそ信仰です。目の前に「救いの泉」があり、喉が渇いても、信仰がなければ、命の水を飲むことはできません。「喜びの内に」主の救いを頂く信仰が全ての人に起こされるよう、祈りましょう。



[土]バビロンに対する主の裁きは、世界の終わりの最後の審判を表します。主に対する不信や傲慢を必ず、裁かれます。その時に悔い改めても遅いのです。「見よ、主の日が来る」のですから、明日ではなく今日、悔い改めて、主に従いましょう。

	聖書	問題	答え
日	イザヤ 8:1-23	あなたが恐れるべき方は誰ですか。	
月	9:1-20	万軍の主の何がこれを成し遂げますか。	
火	10:1-19	しかしなお、何はやまず御手は伸ばされたままですか。	
水	10:20-34	どんな者だけが帰って来ますか。	
木	11:1-16	エッセイの根から何が育ちますか。	
金	12:1-6	あなたがたは喜びのうちに何から水を汲みますか。	
土	13:1-22	泣き叫べ、どんな日が近づいていますか。	
		感想と祈りの課題	